

Sustainable Report No.169

傍観者の関わり方が いじめを変えていく

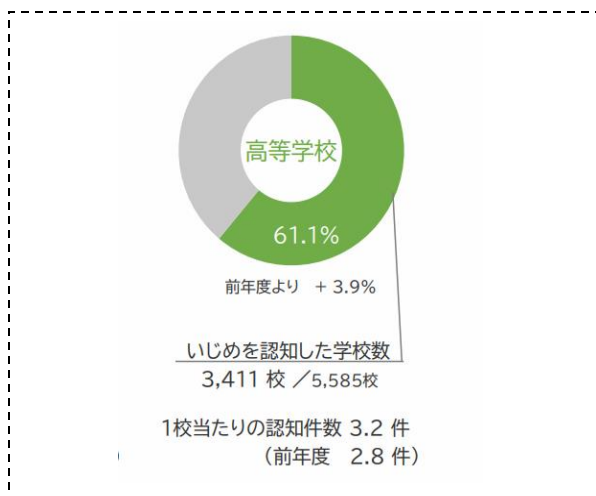


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

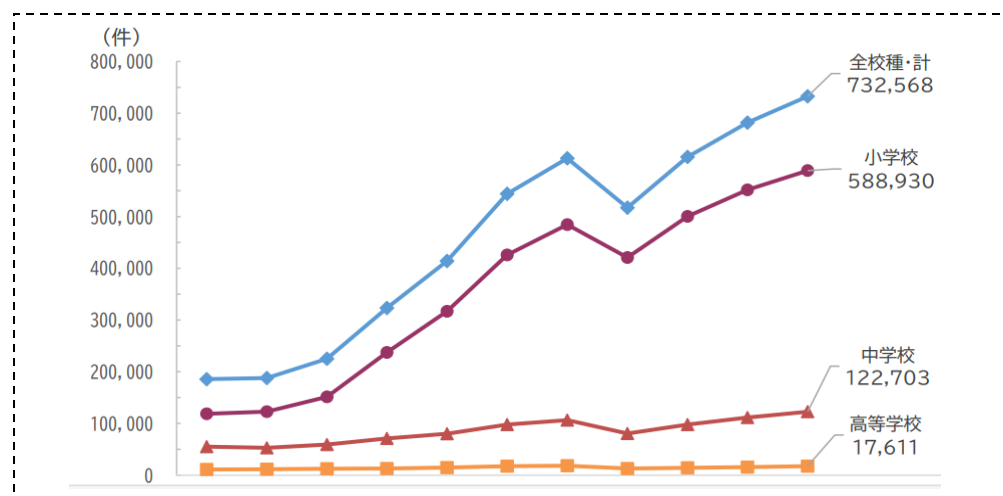
- 高校では、半数以上の**3,411校／5,585校**がいじめを認知しており、1校当たりの認知件数は3.2件で、前年度の2.8件から**3.9%増加**した。
- 学校としていじめの兆候を見逃してしまうなどの早期発見・早期対応への課題や個々の教員が一人で抱え込んでしまうなど、組織的な対応への課題があったことなどが考えられる。
- 高校でのいじめによる心身の不調や不登校は、進学や就職といった将来の進路選択に大きな影響を及ぼす。

■ 学校種別の状況



出典：文部科学省

■ いじめの認知件数の推移



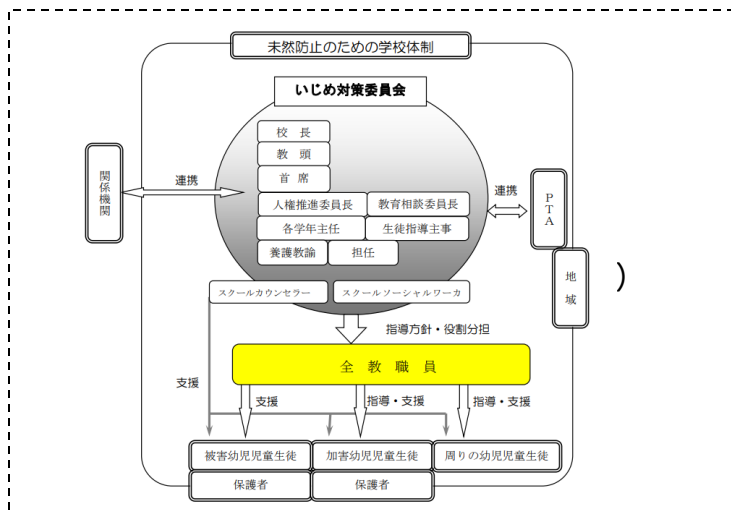
出典：文部科学省

▶ NEXT : いじめ防止基本方針事例

■ 実行者／解決事例／残る課題

- 大阪府立みどり清朋高等学校は、互いの違いを認め合い共に学び生きるため、**人権教育を重視**し、いじめ防止基本方針を定めている。
- 早期発見対策として、毎朝のSHRで生徒の表情を確認し、欠席が続く場合は電話や家庭訪問で状況を把握し、担任や学年で**情報共有**している。
- 日本では、いじめは当事者だけの問題になりがちで**傍観者**への取り組みに十分にフォーカスされていない。

■ 未然防止のための学校体制



出典：大阪府立みどり清朋高等学校

■ いじめ防止年間計画(一部抜粋)

| 大阪府立みどり清朋高等学校 いじめ防止年間計画 | | | | |
|-------------------------|---|---|--|---|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 学校全体 |
| 4月 | 学校いじめ防止基本方針の内容を生徒、保護者へ周知 高校生活支援カードによって把握された生徒状況の集約 | 学校いじめ防止基本方針の内容を生徒、保護者へ周知 人権HR（いじめを考えた） | 学校いじめ防止基本方針の内容を生徒、保護者へ周知 人権HR（いじめをなくすために） | 第1回 いじめ対策委員会（年間計画の確認、問題行動調査結果を共有） |
| 5月 | 校外学習 | 校外学習 | 校外学習 | PTA総会で「学校いじめ防止基本方針改定」の趣旨説明 |
| 6月 | 保護者懇談週間（家庭での様子の把握） | 保護者懇談週間（家庭での様子の把握） | 保護者懇談週間（家庭での様子の把握） | 保護者に対して公開授業週間の実施 教職員間による公開授業週間（わかる授業づくりの研究） |
| 7月 | いじめ等アンケート実施 | いじめ等アンケート実施 | いじめ等アンケート実施 | いじめ等アンケートの確認・対応等検討 いじめアンケートに基づく第2回いじめ対策委員会 「学校いじめ防止基本方針」のHP更新 |

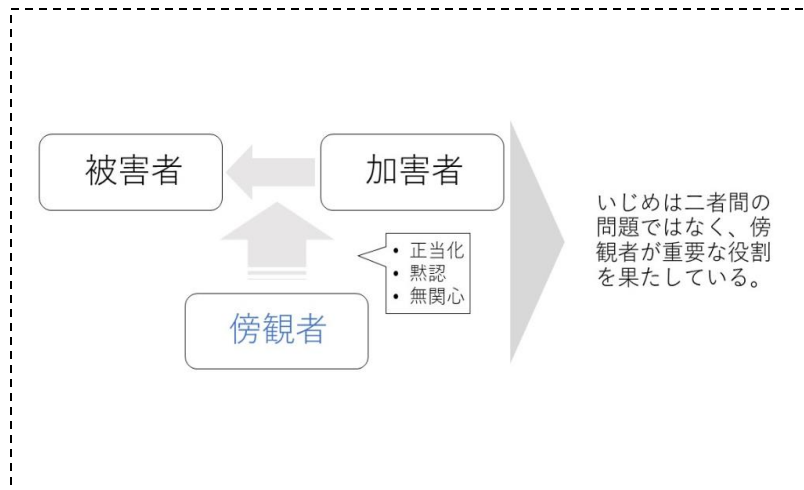
出典：大阪府立みどり清朋高等学校

▶ NEXT：傍観者に焦点を当てたプログラム

■ 残る課題の原因／理想となる状態／社会展望

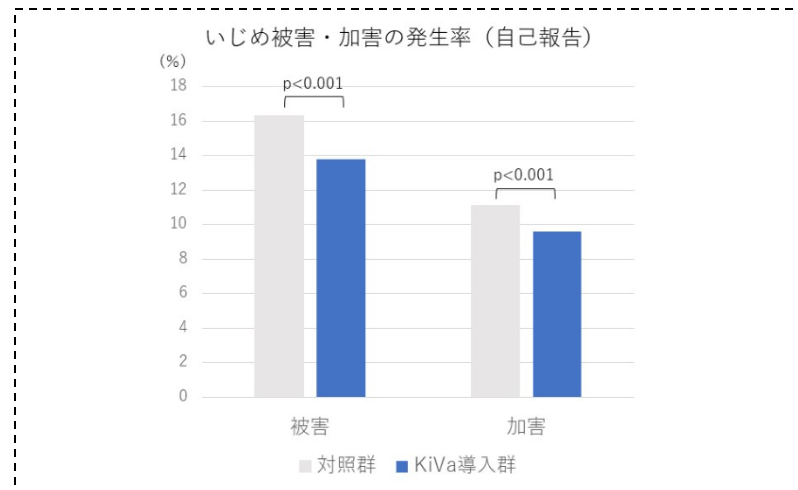
- いじめに関する認知、境界線が曖昧なため**自覚性**が低い。他人事のように**見て見ぬふり**をしてしまう。
- 加害者と傍観者の**責任を同等**に捉え、これまで傍観者であった人々が被害者を助ける環境づくりが望ましい。
- いじめの定義理解を深めるため、日本でも **KiVaプログラム**のように傍観者に焦点を当てたプログラムを導入する。

■ いじめの構造



出典：瀧本ゼミ政策分析パート

■ いじめ被害・加害の発生率(自己報告)



出典：瀧本ゼミ政策分析パート

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ いじめ対策プログラム／効果／いじめの構造

- KiVaは、フィンランドのトゥルク大学で開発された、**いじめ対策の公式プログラム**で、欧米を中心に多くの国で導入されており、研究でもいじめの減少効果が確認されている。
- フィンランドの小中学生を対象にしたランダム化比較試験では、実施群でいじめの加害・被害が有意に減少した。また、大規模コホート研究でも、未導入群に比べ導入群はいじめが少なく、全国規模では**被害者約12,500人、加害者約7,500人の減少**に相当すると推計されている。
- いじめは集団内での地位や承認欲求に動機づけられ、**傍観者や加担者の存在**によって強化される。多くの生徒は黙認し、被害者を助ける行動に出にくい構造がある。

■ KiVaロゴマーク



出典：KiVaプログラムおよびトゥルク大学

■ KiVaのいじめ対策プログラムサイト掲載写真



出典：KiVaプログラムおよびトゥルク大学

■ 参照・引用資料

- 文部科学省, 「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果概要」, 2024年10月31日
(https://www.mext.go.jp/content/20241031-mxt_jidou02-100002753_2_2.pdf)
- 大阪府立みどり清朋高等学校, 「学校いじめ防止基本方針【改訂版】」, 2023年5月9日 (https://midoriseiho.jp/student/policy/img/ijimeh_r5.pdf)
- 東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野, 「学校におけるいじめ対策教育—フィンランドのKiVaに注目して—」, 2013年
(https://www.jstage.jst.go.jp/article/adr/5/1/5_31/_pdf)
- 瀧本ゼミ政策分析パート, 「傍観者にアプローチするKiVaプログラムでいじめを減らす」, 2020年9月21日
(<https://tsemi190194895.wordpress.com/2020/09/21/傍観者にアプローチするkivaプログラムでいじめを/>)
- KiVa プログラムおよびトゥルク大学, 「KiVaのいじめ対策プログラムサイト」, 2026年3月19日参照 ([KiVa is an anti-bullying programme | KiVa Antibullying Program | Just another KiVa Koulu site](#))

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。